

WEBROOT®

多彩なエリア フランチャイズ事業を展開する アスラポート・ダイニングが、 ウィルス対策にウェブルートを導入

動作の軽さによってPCでの作業が阻害されることがなくなり
社外にあるPCも容易に一元管理することが可能に

株式会社アスラポート・ダイニング

企業概略

業種： 外食フランチャイズ本部の運営、
外食店舗の運営、食品の製造、
小売

設立日： 2007年1月12日

代表者： 代表取締役社長 中村敏夫
代表取締役会長 檜垣周作

所在地： 東京都品川区西五反田1-3-8

導入以前の状況

- ・ウィルス対策ソフトの処理が重く、PCの起動やスキャンに時間がかかり、PCを使えないケースが多かった
- ・管理機能の処理が重く、適切な管理ができていなかった
- ・管理すべきPCの約8割が社外にあるため、実質的な管理ができていなかった

導入効果

- ・動作が非常に軽くなったため、スキャン時でも作業が阻害されなくなった
- ・常にクラウド経由で最新の状態に保たれるため、感染のリスクが大きく減った
- ・社外にあるPCも一括管理ができ、ファイルやコマンドの送信の活用度も高い

オーバービュー

「牛角」や「とりでん」をはじめとするエリアフランチャイズ事業を展開する株式会社プライム・リンクのホールディングスとして、2007年に設立された株式会社アスラポート・ダイニング。以降も「GOKOKU(ゴコク)」「TACOBELL(タコベル)」「小僧寿し」など展開を広げ、現在はグループ全体で1300を超える店舗を持ち、さらに規模を拡大しています。

アスラポート・ダイニングではこれまで、グループ内のエンドポイント対策に複数のセキュリティ対策製品を試してきました。しかし、動作の重さや起動時間の長さ、一元管理ができないなど、いずれも十分な効果を発揮できていなかったといいます。そこで、ウェブルートの「Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイント プロテクション」を導入しました。

課題

アスラポート・ダイニングでは、事業の拡大につれて増加する店舗を含めたグループ内のシステムを一括管理できるよう、取り組みを進めています。「2017年の4月から5月に向けてシステムの統合に取り組んでいます。その中で、エンドポイントのセキュリティ対策については、これまでさまざまな製品を試してきました」と語るのは、経営戦略本部 ITソリューション部の水谷一氏。これまでに、シマンテック、トレンドマイクロ、エフセキュアのエンドポイント製品を導入してきたといいます。

「一番の問題は動作の重さでした。今まで試した製品は、PCの起動時にパターンファイルを更新し、昼にPCのウィルススキャンを行うようになっていて、その間はPCを使えない状況でした。また、Windows XPのPCも数多くあり、公式サポートの終了を受け対応機種から外される製品もありました。さらには、未知のマルウェアを検出できない、全体の約8割を占める本社外のPCを一元管理ができないという課題もありました」(水谷氏)。



株式会社アスラポート・ダイニング 経営戦略本部 ITソリューション部の水谷一氏は、次のように語っています。「さまざまなメーカーのウィルス対策ソフトを試しましたが、動作が重い、一元管理ができないといった問題がそれぞれありました。ウェブルートを使うことで、動作を感じないほど軽くなり、社外にあるPCも一元管理できるようになりました。特に、ファイルやコマンドの送信機能は便利で、さまざまに活用しています」

ソリューション

そこでアスラポート・ダイニングでは、ウェブルートの「Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイント プロテクション」を選定しました。きっかけは営業だったといいます。「当時は社内のローカルにあるPCしか管理できない状況のため、クラウドで管理できる製品を考えていました。そこでウェブルートを紹介され、フルクラウドなのでPCがどこにあっても最新の保護が可能であることや、クラウド上のコンソールから一元管理できることを聞き、次の更新のタイミングで入れ替えようと1年間ほどテスト運用しました」（水谷氏）。

具体的には、2011年から数台でテスト運用を開始し、2012年に直営店も合わせて本格導入しました。「一般的なセキュリティ対策ソフトは、他社のセキュリティ対策ソフトとの共存ができません。そのためインストール時に他社ソフトをアンインストールする機能がありますが、ウェブルートは他社ソフトと共存できるため、アンインストールされることがありません。従来のセキュリティ対策ソフトの削除は、ウェブルートの各PCにコマンドを送る機能を使って削除しました」（水谷氏）。

導入効果

水谷氏は「Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイント プロテクション」の導入効果について、次のように語りました。「社内から社外のPCのアラートを確認できるようになりました。検知はかなり多く、特にランサムウェアが多い状況です。ランサムウェアはスパムメールで入ってきます。ホスティングサーバ側でスパムウェア対策が導入されているのですが、それをすり抜けて入ってきてしまいます。最近のスパムメールは日本語に不自然な点もなく、『請求書』『見積書』など開いてしまいそうな件名で届きます。ウェブルートはそれらのメールから危険な添付ファイルを検知してくれるので、感染したケースはないですね」。

また、ウェブルートはクラウドベースなので定義ファイルの更新が不要で、スキャンも高速なため作業効率が上がったといいます。「以前は、PCの起動時やスキャンの間はダイアログが表示され、PCを使えない時間が多かったのですが、ウェブルートは数秒から数十秒で完了してしまうため、そもそもダイアログが表示されません。そのため『PCが使えない』といった問い合わせや不満もなくなりました」（水谷氏）。

さらに、管理する側で大きく手間が減ったこととして、水谷氏はコマンドやファイルを送ることができる機能を挙げました。「たとえば、アスラポート・ダイニングは2015年9月に本社を移転しているの



ですが、その際にプリンタドライバが原因で印刷エラーが出てしまう障害が発生しました。そこでウェブルートの機能でドライバを更新しました。ファイルを送るだけで済むので非常に簡単でした。この機能は、Windows 10への強制アップデートの回避にも役立ちました。コマンドが実行できるということと、ファイルをダウンロードできて実行できる、この機能はすごく重宝しています」。

今後の展望

ウェブルートに対する要望をうかがうと、特に不満な点もなく、グレー判定を含むさまざまな機能をもっと使いこなしていきたいといいます。また、資産管理として活用できる機能もあることが便利で、「いっそ、資産管理機能も統合して欲しい」と水谷氏はいいます。

今後の展開について水谷氏は、「グループ全体でシステムを統合していく中で、約2000台のPCについてセキュリティ対策ソフトも統合したいと考えています。全グループのPCの状況をひとつのコンソールから把握できるのは、セキュリティ向上にも管理の効率化にも非常に有効です。ただ、資本関係が複雑なケースもありますので、そのあたりは検討が必要でしょう」と話してくれました。

お問い合わせ **WEBROOT®**

ウェブルート株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山 3-13-18 313 南青山 8F

URL <http://www.webroot.co.jp/>

WebrootJapan

@Webroot_JP